

MS&AD

三井住友海上

気象ビジネスフォーラムトークセッション 「気象データとグリーン社会」

2022年**2**月**10**日

三井住友海上火災保険株式会社
経営企画部 気候変動対策チーム
浦嶋裕子

会社紹介:三井住友海上

MS&AD

三井住友海上

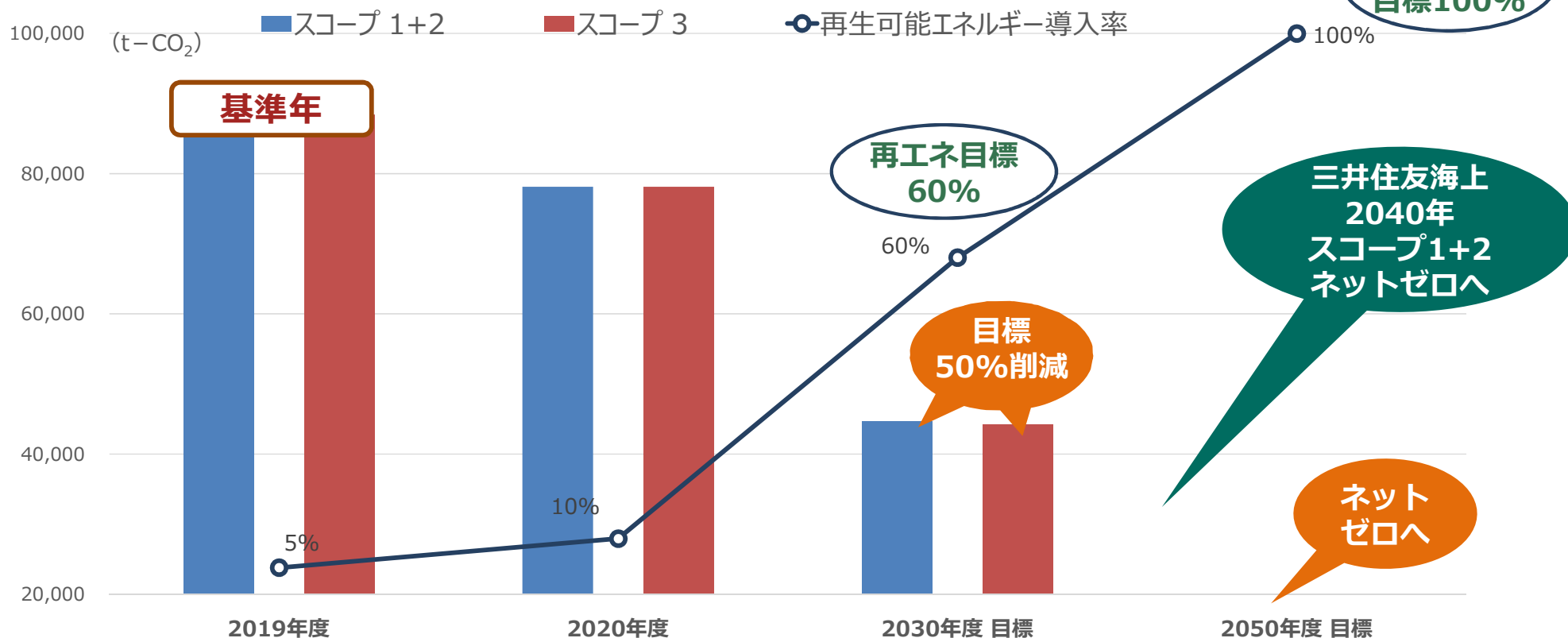


社名	三井住友海上火災保険株式会社
所在地	〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-9
設立	大正7年（1918年）10月21日
資本金	1,395億9,552万円
海外ネットワーク	42の国と地域



ネットゼロに向けた目標 (グループ目標)

GHG排出量削減目標と再生可能エネルギー導入率



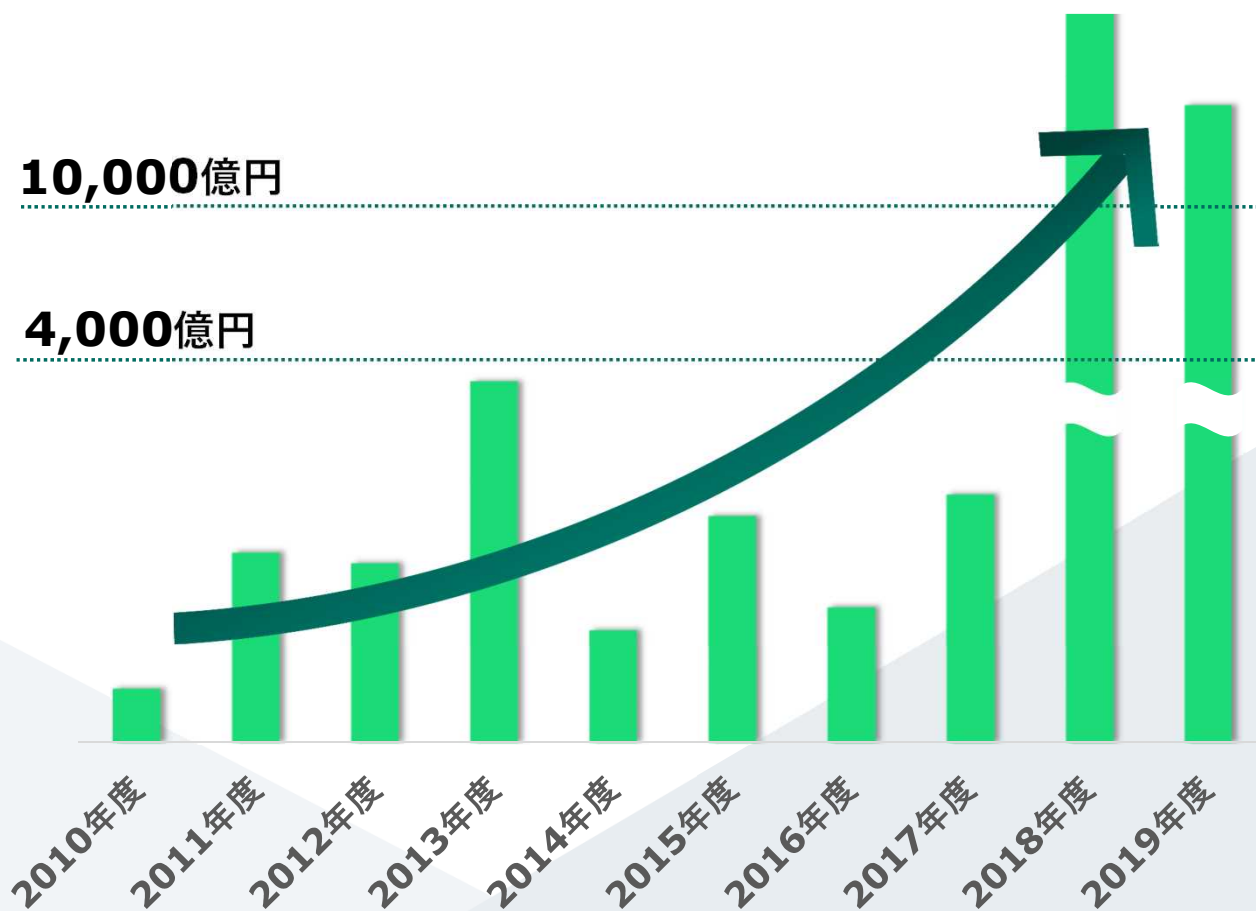
※ 1 当社グループの事業を通じて間接的に排出するもののうち、スコープ 1 とスコープ 2 以外のもの

2030年度目標はカテゴリー1,3,5,7,13を対象。2050年には全カテゴリーでのネットゼロを目指す。

カテゴリー1:購入した製品・サービス、 3:スコープ1,2以外の燃料及びエネルギー活動、 5:事業から出る廃棄物、 7:従業員の通勤、 13:リース資産

※ 2 GHG(Greenhouse Gas): 温室効果ガス、上記のグラフはCO2排出量換算にして計算したもの

国内の自然災害に起因する保険金支払額



保険金の支払い
前の10年間と比較すると…

約3倍！



2000年度
～
2009年度



2010年度
～
2019年度

防災ダッシュボードの開発

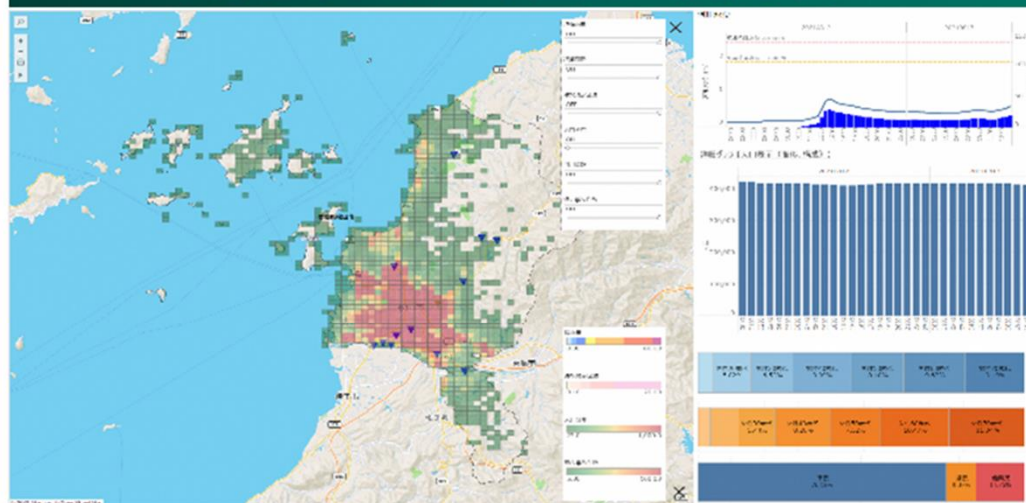
- クラウド上に様々な防災・気象データを集約。
- 重ね合わせ可能な自由度の高いマッピング機能により、一元的に情報収集が可能になります。

**Point****防災ダッシュボードだけで防災・減災に必要な情報が一目でわかる！**

河川水位と雨だけ
重ね合わせて
表示したい。

**防災担当者様**

防災ダッシュボード画面（開発中）



画面左：
重ね合わせ可能なデータマッピングツール

画面右：
グラフ情報による詳細表示

様々な気象情報や
危険個所の確認が
一元的に可能。

**防災担当者様**

気候変動リスクの定量評価サービス

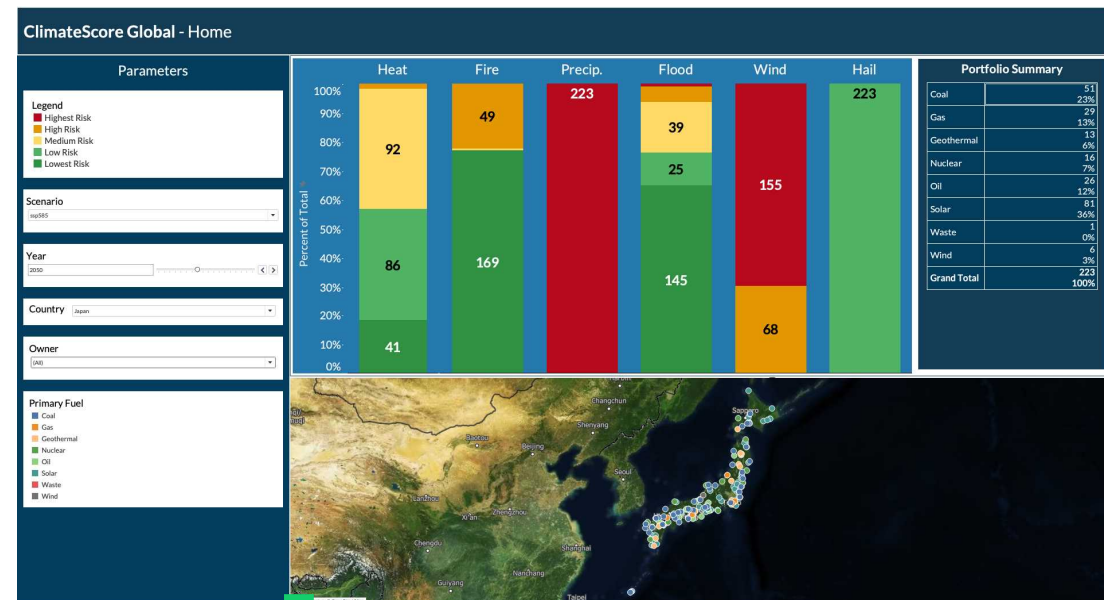
MS&AD

三井住友海上

TCFD
TASK FORCE ON
CLIMATE-RELATED
FINANCIAL
DISCLOSURES



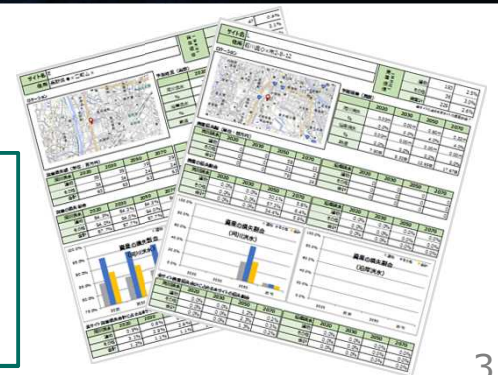
AIが工場や取引先の
ロケーションをベースに
自然災害による
将来の被害額を予測



MS&AD MS&AD インターリスク総研株式会社

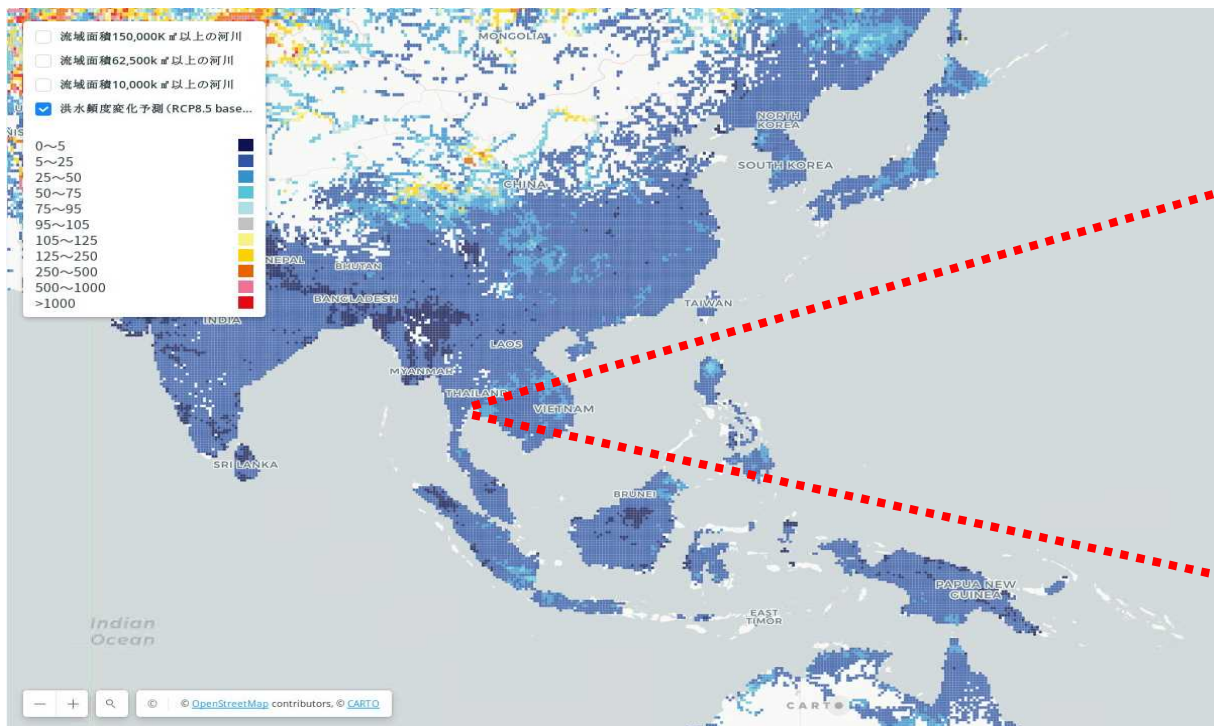


JUPITER™



洪水頻度変化予測マップ

LaRC-Flood（ラルク・フラッド）



世界各地の洪水リスクが気候変動によりどのように変化するか予測

再生可能エネルギー関連の保険



太陽光発電



風力発電



バイオマス
発電

再生可能エネルギーの急速な普及には
損害保険による補償の提供が不可欠！

再エネのさらなる普及に向けて

MS&AD

三井住友海上



当社に必要な能力を獲得し、
保険会社として**将来にわたり社会に補償を提供**

地域共生型再エネ発電事業への出資

事業の目的

- ①カーボンニュートラルへの貢献
- ②地域との共生
- ③保険シナジーの創出

事業イメージ



気候変動対策の推進体制

MS&AD

三井住友海上

経営企画部 気候変動対策チーム

①
商品
サービス

②
マーケット
戦略

③
資産運用

④
自社の
脱炭素化

⑤
リスク
分析

⑥
海外事業

カーボンニュートラルサポート特約

インパクト投資

気候変動影響評価

天候デリバティブの販売推進

自社ビルでの再エネ導入

海外現法での取組推進